

学校通信 令和4年 1月11日 No. 14

# 鼓ヶ浦 (つづみがうら)

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校

TEL:386-5852 FAX:386-4663

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhtsudumigaura/>

## めざす学校像

「来てよかった、  
明日も来たい」  
と思う学校

## 3学期 始業式にあたって ～飛躍のための3か月～

今年も新しい年が始まりました。「初詣」や「合格祈願」に出かけた生徒もいるのではないのでしょうか。3年生にとっては、自分の進路決定を目前に控えた大切な時期であり、引き締まった気持ちで新しい年を迎えたことと思います。1・2年生にはぜひ3年生がどのような気持ちで毎日の生活を送るかを見て、知ってほしいと思います。中学校は3年間という短い期間です。2年生は1年後に、1年生は2年後に、3年生と同じ立場になります。1年間は瞬く間に過ぎてしまいますので、何気ない1年を過ごすのではなく、それぞれの学年で充実した1年を過ごし、確かな成長を遂げ、自分の将来の夢をかなえる力をつけてほしいと願っています。

卒業・進級するまでの3か月間は、自分自身を「飛躍」させるための重要な期間となります。3年生は、自分の進路を決めるだけでなく、進路先でさらに飛躍する力をつけるための期間、2年生は最上級生として学校をリードできる力を身につける期間、1年生は学校の中心となり4月に入学する新入生の良きモデルとなる力を身につける期間となります。つまりこの期間は、自分を磨き、卒業後に夢や希望をもって生きていく力を身につける期間となります。一人ひとりがこれまでの自分の学びを振り返り、達成可能な行動目標を立ててください。そして、目標達成に向けた具体策を立て、強い意志をもってそれを実行する期間です。こういう意識をもってこれからの3か月間の学校生活を有意義なものにしてほしいと思います。

新年を機に「新年の抱負」として、自分の目標を文章に残しておくことも大切です。自分の将来は、学校生活の送り方や家庭学習の積み重ねによって、いくらでも変えることができます。「自分の未来を自分の力で切り拓く」そんな夢のあることに、みなさんは取り組んでいます。自分の将来は自分で決めるという強い意志をもち、充実した毎日をすごしましょう。

保護者の皆様、あらためまして、本年もよろしくお願ひいたします。

「学ぶことは、まねること」と言われますように、学ぶ環境にお手本となる存在は欠かせません。目指す姿が見えることで、学びが実現するとも言えます。それだけに、身近な存在である大人は、良きお手本としての役割が求められます。

教育は、「共育」であり「鏡育」でもあります。子どもは大人の鏡であると言われるゆえんです。新学期を迎え、私たちが親として教師として、鏡たる子どもの目指す姿であることを意識し、目標をもって前向きに取り組む生き様を示すことで、その役割を果たしていきたいと考えます。

今年も、昨年と変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## あと、少しだけ！

エディ・タウンゼントというボクシングに携わる男性がいました。ガッツ石松さんをはじめ、六人の世界チャンピオンを育てた名トレーナーと言われた方です。

ある時、エディさんは、「世界チャンピオンになれる、なれないは、どのくらいの差があるの？」と自分が指導している選手に問いかけました。そして、その答えとして、左手の親指と人差し指の間を2センチほど空け「これだけよ。ほんとうにこれだけの差よ。わかる？」とメッセージを送りました。

「もうだめだ」とあきらめるか、「あと、少しだけ！」と思って頑張れるか、その差は少しだけ・・・、それは、あなたの気持ちの持ち方次第だよ、とエディさんは私たちに伝えてくれているような気がします。

この話を参考に、みなさんの今年につながる「少し」は何かを考えてみました。学習面では、英語や数学の予習復習をされていて「もうやめよう」、「予定の時間がきたからやめよう」と思った時に、「あと一問だけ、計算問題をやろう」、「あと1分だけ熟語の復習をしよう」と考えて実践してみてもうどうでしょうか。

部活動においては、「もうやめた」と思った時に、「あと1本、サーブ練習をしよう」、「あと1分だけ素振りをしよう」と思い直し、練習をすればどうでしょうか。

あと一問、あと1本、あと1分・・・。あと少しの頑張りや積み重ねが、その人の実力になることは間違いありません。

みなさん、今月からこのような心構えで生活してみてもうどうでしょうか。新年の誓いがかなえられたり、目標が達成できたりする一助になるかもしれません。